

第四十八回句会 俳句

【高点句】

- ☆病む父の隻語の電話秋の雨 〈茂〉
☆一球を追ふ歓声や秋高し 〈眞澄〉
☆秀麗明日はこけしになる丸木 〈明美〉
☆また同じ昔の話盆の月 〈明美〉
☆ウォーキング歩調もゆるむ上り月 〈伸子〉

【各自一句】

- ・ 訃報受け大事にせねばと梨をむく 〈緑〉
・ ほんのりと墨の香残り秋涼し 〈眞澄〉
・ 亡骸に動けと思う秋の夜 〈茂〉
・ 穂芒を揺らし池面の影揺らし 〈明美〉
・ 赤ちゃんのあくびの吐息秋うらら 〈撫子〉
・ 夕暮れにパノラマを追う遊び舟 〈雄記〉
・ 秋空へ暫しのたびの観覧車 〈一馬〉
・ 少しだけベッドに長居秋うらら 〈莫院〉
・ 虫時雨都会の夜の風雅かな 〈青蛙〉
・ 水遣りのホースをくぐり赤蜻蛉 〈郁代〉
・ 山の芋悔やむことけふひとつあり 〈千恵〉
・ 秋うらら少しはずれた弦の音 〈安津子〉
・ 秀麗心悲しき希林かな 〈隆司〉
・ 秋深し同行二人の鐘わたる 〈童心〉

*以上、4 1句（3 句ずつ 1 3 名と 1 句 2 名）より、選句は 1 7 名により 4 句ずつ

*高点句は、高得点の句より 3 句（今回は第 3 位が同点で 3 句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）